

平成25年度 学校評価実施報告書

(京都市立楊梅幼稚園)No.1

1 平成25年度 重点評価項目

・遊ぶ意欲を引き出し、豊かな体験活動の実践	・人とかかわる力の育成	・幼小連携の充実
-----------------------	-------------	----------

2 1回目評価

2-① 自己評価 【 評価日 : 9月29日 評価者・組織(名称) : 評価委員会 】

	分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	改善策
1	保育	豊かな体験活動	教職員・保護者アンケート	園での様々な体験活動により、豊かな心の育成を目指す保育について、また、一人一人を大切に、個に応じた指導については、ポイントが高く、保護者にも理解していただいていると捉えられる。コミュニケーション力の育成については、子どもの発達の個人差があるためか、やや低く感じられる。	保育内容の一層の充実に取り組むとともに、一人一人に応じた保育の徹底を図る。子ども一人一人の思いを受け止めるとともに、コミュニケーション力を育てる集団の育成に努める。
		個に応じた指導	教職員・保護者アンケート・記録		
		コミュニケーション力の育成	教職員・保護者アンケート		
		人とかかわる力	教職員・保護者アンケート		
2	教職員	協力体制	教職員・保護者アンケート	園の教職員の対応等については良い評価が得られている。園内では常に子どもの姿を話し合い、保育を振り返る機会をもっている。また、研修会にもできるだけ参加し、自己研鑽に努めてきている。	より信頼が得られるようにより良い保育の充実を図る。より良い保育のために、個々の教職員の力量を高めていきたい。
		保育の充実と研修	園内研修の実施状況・各種研修会参加率		
3	連携	地域との連携	教職員・保護者アンケート・参加率	連携に関しては、全般的に他の項目よりやや低い評価となっている。小学校との連携は盛んであり、結果も見えるが、その他の地域や中学校との連携の成果が見えにくいのではないと思われる。家庭での親子のかかわりについては、その大切さの理解と努力がうかがえる。	保護者には、個の姿や発達の様子、課題のついて、より具体的に丁寧に伝え、教育への理解を図るようにする。地域の中の幼稚園、地域との連携については、意義や成果について、発信していく必要がある。
		家庭との連携	教職員・保護者アンケート・教育相談の件数		
		幼小連携	教職員・保護者アンケート・事前事後の話し合い		
4	その他	情報発信の充実	教職員・保護者アンケート、園便り、楊梅便りの内容の充実、HP更新状況及びアクセス数	幼稚園の教育方針や教育活動を発信することは重要である。今年度はホームページを毎日更新しているので、アクセス数は昨年度の2倍になっている。幼稚園の日々の教育活動尾に関心を持っていただいていることがうかがえた。HPや口コミで聞いたりして、園に訪問される未就園の方もあった。園便り、楊梅便りの内容もより充実していく必要がある。	引き続き、ホームページは毎日更新して、幼稚園の教育活動や様々な情報について発信していく。楊梅便りや園便りの内容は一層の充実を図り、幼稚園教育についてより理解が得られるようにしていきたい。

2-② 学校関係者評価 【 評価日 : 9月29日 評価者・組織 : ○学校運営協議会 , 学校評議員 (いずれかに○) 】

評価結果	改善に向けた支援策
幼稚園の教育活動は、長いスパンで総合的に行われていることから、保護者もゆったりと親子でかかわり、教育への関心や理解も高いのではないか。また、保護者との直接的な対話ができるため、一人一人を大切にしたい保育実践に努める教職員に対しての理解があり、園の様々な営みに協力的である。より教育活動を充実させていくよう改善策を実践していく必要がある。	教職員一人一人が自己研さんに努め、日々の教育活動をより充実させていく。より広い視野で教育活動を見直し、地域や家庭との連携やその意義を見直し、伝えたり発信したりする。HP、教育相談の充実、ポスターの掲示など情報発信に努め、口コミでも園の教育について広く伝わるようにしていきたい。